

給与支払報告書・特別徴収に係る給与所得者異動届出書

転勤、再就職等により、異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合、前勤務先でB欄までの部分を記入し、住所勤務地（課税地）の市区町村長に送付してください。

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。 ◎用紙が足りない場合は、コピーしてご活用ください。

※市（町）処理欄		1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度	
この届出に係る連絡先		特別徴収義務者 指 定 番 号	
		宛名番号	
		受給者番号 (整理番号)	
係			
氏名			
電話			
給与所得者		異 動 年月日	
フリガナ		異動の事由	
氏 名		異動後の未徴収 税額の徴収方法	
生年月日		1月1日から退職 時までの給与支払 総額	
個人番号		1. 退職 2. 転勤 3. 休職 4. 長期欠勤 5. 死亡 6. その他 ()	
1月1日現在の住所		1. 特別徴収継続 → (C欄記入) 2. 一括徴収 (5月分までまとめて徴収) → (B欄記入) 3. 普通徴収 (残額を個人で納付) → (B欄記入)	
現在の住所		1. 特別徴収継続 → (C欄記入) 2. 一括徴収 (5月分までまとめて徴収) → (B欄記入) 3. 普通徴収 (残額を個人で納付) → (B欄記入)	

A欄

給与所得者		(ア) 特別徴収税額 (年税額)	徴収済月	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ)	異 動 年月日	異動の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法	1月1日から退職 時までの給与支払 総額
フリガナ	旧姓	円	月分から 月分まで	円	円	令和 年 月 日	1. 退職 2. 転勤 3. 休職 4. 長期欠勤 5. 死亡 6. その他 ()	1. 特別徴収継続 → (C欄記入) 2. 一括徴収 (5月分までまとめて徴収) → (B欄記入) 3. 普通徴収 (残額を個人で納付) → (B欄記入)	円
氏 名									
生年月日	昭和・平成 年 月 日								
個人番号									
1月1日現在の住所									
現在の住所	(給与の支払を受けなくなった後の住所)								円

※ 個人事業者は「法人番号又は個人番号」欄に個人番号を左側1文字空けて記載してください。

●一括徴収の届出書

一括徴収の理由		徴 収 予 定			一括徴収した税額は 月分 (納期限 月 日) と合わせて納入します
1. 異動が12月31日以前で本人から申出有(注1)	異動者印	徴収予定日	徴収予定額	徴収予定額合計 [上記(ウ)と同額]	
令和 年 月 日申出					
2. 令和 年1月1日以降に退職(注2)					
3 一括徴収できない理由	1. 5月までに支払われる給与又は退職手当等が未徴収税額より少ない。 2. その他 ()				

(注1) 12月31日以前の退職者についても、できるだけ一括徴収をお願いします(退職後国外へ転出する場合は、特に協力をお願いします)。

(注2) 1月1日から4月30日までに退職した場合は、本人の申出がなくても一括徴収することが義務付けられています。

●転勤等による特別徴収届出書 (転勤等で特別徴収の継続を希望される場合に記入してください。)

月割額 円を		給 与 支 払 者 (特別徴収義務者)	所在地	〒	特別徴収義務者 指定番号		新規	新規の場合 新しい勤務先がまだ特別徴収義務者に指定されていない場合	
月分から徴収し 納入する。			フリガナ 名 称		この届出に係る連絡先	係			
			代表者の 職氏名			氏名			
			法人番号			電話			
								指定番号の 事前連絡	要・不要
								納入書	要・不要

◎ ※印の欄は届出者において記載する必要はありません。

「指定番号」「宛名番号」の欄には、通知書に記載された番号を必ず記入してください。